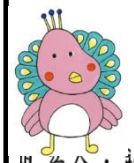
学校の教育目標：やさしく かしこく たくましく　経営方針：心の宝物が輝く学校



かさはら THE TEAM

児童会：新しいリーダーによる新しいスローガンを楽しみにしています

令和 3 年度
笠原小学校
学校便り
8 月 27 日号

成長と試練の秋

校長　鈴木　稔朗

長い夏休みが終わり、子どもたちの笑顔が学校に帰ってきました。40 度を超える猛暑日があれば、終盤には梅雨末期のような長雨と災害級の豪雨と、自然の厳しさに直面した夏でもありました。子どもたちは、どんな日々を過ごしたのでしょう。宿題、お手伝い、遊び、ゲームに読書。日々の生活の中で、どの子も、様々な「選択」を重ねたはずです。そんな夏休みの経験が、これからの成長の糧になると信じます。8月と9月は、児童一人一人が前期の自分の変容を見つめ、仲間との絆を実感する時期です。そうして、後期に向けて、ありのままの自分を大切にしつつ、なりたい自分に近づくための目当てや係活動を選び取っていく大切な時間です。子どもたちが日常生活で見せるよさのきらめきや心の揺れに目をこらし、一人一人が自分の「心の宝物」を実感し、笑顔と成長が輝くよう、全職員一丸となって指導します。一層のご理解とご協力をよろしくお願いします。

＊＊

夏休み明けの笠原小学校は、そんな新たな成長への希望と共に、改めてお互いの命を守り合う意識を全員で胸に刻んでスタートしました。新型コロナウイルスの感染が厳しい状況です。8月14日、岐阜県が「オール岐阜『生命の防衛』宣言」を発出し、20日から9月12日まで適用されていた「まん延防止等重点措置」が、27日から「緊急事態宣言」に格上げされることが決まりました。そんな中での教育活動の再開に当たり、本校は、これまでの感染予防活動の徹底と共に、行事の延期、一部解除していた教育活動や児童の遊びの制限の再開等様々な対応策をとり、子どもたちの命を守ることと、教育活動の充実の両立を実現します。（「中止」は宣言期間中をめどにしています）

・愛校作業、資源回収（宣言解除なら9月19日（日）予定）、外部講師を招く活動の中止・延期
・9月15 日（水）の授業参観の延期、9月21日（火）の3年生体験学習の再延期
・ドッチ、サッカー、バスケのゲーム等体育や遊びで密集する活動、クラブ、遊具の使用中止
・近距離、密集の理科実験、調理実習、図工の制作、室内でのリコーダーや合唱の中止
・iPad の teams アプリを用いた学校と家庭間の「オンライン授業」の準備の加速
・全校で「もしもだれかがかんせんしたら」をテーマに心を耕す道徳を実施
・日常の感染予防意識と行動力を高めるため、学級の各班に「コロナマイスター」を選任　等

試練の秋を全員で耐え抜き、一人一人の成長と、チーム笠原の絆を深めるチャンスとしたいと考えます。そのために、大きく二つ、ご理解とご協力をいただきたいことがあります。

一つは、学校と家庭とで、これまでの感染予防行動を一層徹底していくことです。「デルタ株は、これまでのウイルスとは別物といえるほど感染力が強い」と専門家は言います。「混んだカフェに数分いる」「マスクを取って1、2 分おしゃべりする」だけでも感染の危険があると。しかし、同時に次のようにも言います。「何かを大きく変える必要はない。一人一人が知っている予防行動を徹底することが最も重要だ」と。本校もこの信念で進めます。学校 HP に、諏訪中央病院玉井医師作成の解説を掲載しました。魅力あるイラストで、児童にも、私達にも、予防行動が最も重要であることがよくわかり、行動することの意欲付けになる素晴らしい解説書です。是非ご家族でご一読ください。

二つ目は、「排除でなく共感」の思いを一層固くもって頂くことです。現在の状況が続けば、児童、保護者の皆様、職員等本校の関係者が陽性判定を受けることも想定しておかなければなりません。療養や自宅待機による長い欠席で「誰に何が起きたかが何となくわかってしまう」こともあるでしょう。また、その感染の広がりで、例えば修学旅行が中止になり、急なキャンセルで、費用も大半が戻らないことも。「誰かがそうなったら自分はどうする？」をお子様と一緒に考えてあげてください。
「一番辛いのは感染してしまったあなたとご家族だよ。誰もがそうなる可能性がある。大丈夫、誰も責めないよ。一緒に乗り越えよう」何も言わず、何も聞かず、その子の苦しみを思いやれる児童であってほしい、そんなチーム笠原でありたいと心から願います。どうかよろしくお願いいたします。